

【科目名】 コミュニケーション心理学		【担当教員】 若松 直樹
【授業区分】 教養分野 (社会科学)	【授業コード】 1-02-0080-0-2	(メールアドレス) wakamatsu@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】 1・2 年次後期	【選択必修】 選択	(オフィスアワー)
【単位数】 2 単位	【コマ数】 15 コマ	11:00～16:00 (月曜日～木曜日)
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) (受講のルールに関わる情報・予備知識) テキストとなるプリントを配布しますが、「講義ノート」を作成し、多くの情報を記録することを心がけること。		
【講義概要】 (目的) 人間の社会生活の基礎をなすコミュニケーションについて、そのさまざまな特徴や理論を心理学視点で理解する。コミュニケーション自体は日常の一コマであるが、それらを学問的に整理し、本学生として医療での対人関係やその研究の切り口を身につける。 (方法) 言語的・非言語的になされる自己の開示や呈示、他者の理解や説得、欺きや情報操作、集団力動のはたらきや影響などを、実例を踏まえながら理解する。		
【一般教育目標 (GIO)】 授業で学習したことをもとに、自分なりの視点で円滑なコミュニケーションを発展させる。		
【行動目標 (SBO)】 授業で取り上げるキーワードを説明できる。		
【教科書・リザーブドブック】 テキストとなるプリントを配布する。		
【参考書】 特になし。		
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 定期試験を実施する。		

平成 26-28 年度以降入学者用

【達成度評価】		試験	小 テスト	レポート	成果 発表	実技	ポート フォリオ	その他	合計
総合評価割合		90	0	0	0	0	0	10	100 点
評価 指標	取り込む力・知識	90	0	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	0	0	0	0
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	10	0
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の 運営方法	学修課題(予習・ 復習)	時間 (分)					
1	イントロダクション	講義	講義ノートの完成	45					
2	対人コミュニケーションの社会心理学 コミュニケーション研究の切り口について	講義	講義ノートの完成	45					
3	言語的コミュニケーション 主に言語による情報伝達の場合	講義	講義ノートの完成	45					
4	非言語的コミュニケーション むしろ言語を用いない情報伝達について	講義	講義ノートの完成	45					
5	自己開示 個人の情報をどのように伝達するか	講義	講義ノートの完成	45					
6	自己呈示 個人の情報をどのように伝達するか	講義	講義ノートの完成	45					
7	説得 相手を納得させる情報伝達について	講義	講義ノートの完成	45					
8	命令・強制 相手の意思を無視したコミュニケーション	講義	講義ノートの完成	45					
9	他者を欺くコミュニケーション 1 いわゆる悪徳商法について	講義	講義ノートの完成	45					
10	他者を欺くコミュニケーション 2 いわゆるマインドコントロールなどについて	講義	講義ノートの完成	45					
11	他者と取り引きするコミュニケーション 要請のための技法について	講義	講義ノートの完成	45					
12	対人交渉 要請のための技法について	講義	講義ノートの完成	45					
13	集団・社会・文化とコミュニケーション 1 情報の伝達(うわさ・ゴシップ・流言)	講義	講義ノートの完成	45					

平成 26-28 年度以降入学者用

14	集団・社会・文化とコミュニケーション2 日本と海外における情報伝達の違い	講義	講義ノートの完成	45
15	まとめ	講義	講義ノートの完成	45

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。